

## 新しい評価規準「主体的に学習に取り組む態度」について具体的にどのように評価を進めるか

林 隆宏 (はやし たかひろ)

徳島県立総合教育センター 学校経営支援課

義務教育担当 指導主事 小学校算数科担当

hayashi\_takahiro\_1@mt.tokushima-ec.ed.jp

<https://www.tokushima-ec.ed.jp/>教職員支援・学校支援/教科等の指導に役立つ情報/

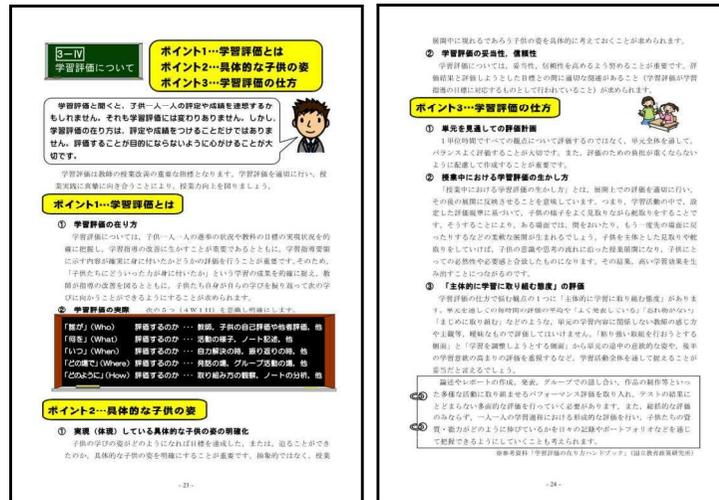
### 1 はじめに

本題「新しい評価規準「主体的に学習に取り組む態度」について具体的にどのように評価を進めるか」に関わり、学習評価全般に対して、本県のこれまでの取り組みから述べることにします。

平成27年度に実施した本県の教員を対象としたアンケートの中の学習評価に関わる内容の回答は、大別すると次のようになりました。

- ・十分満足できる状況とは、どのような状況なのか。 ・指導と評価の一体化ができていない。
- ・評価規準を子供の学習にあてはめるのが難しい。 ・評価方法について知りたい。 等

このように、教員が、学習評価に関して多岐にわたる疑問や不安をもっていることが明らかとなりました。また、学習評価の本来の目的である指導改善に生かすという面からは、評価が実際の授業に上手く活用することができていない現状があることも明らかとなりました。これらのことから、本県としては、授業づくりの冊子「とくしま 授業づくりの基礎・基本」の一部(右図)に学習評価について「学習評価とは」「具体的な子供の姿」「学習評価の仕方」の3つのポイントに整理して、上述の実態における課題を解決することができるよう簡潔にまとめました。



「徳島県立総合教育センター作成『とくしま 授業づくりの基礎・基本』」から

### 2 「主体的に学種に取り組む態度」の評価

算数科における学習評価についても、現場の教師にとって評価方法を模索している部分は大きいと

思われます。特に「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価は、評価の仕方について悩む観点の1つではないでしょうか。本題でもある「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、適正に進めるための留意すべき点や具体的な評価の仕方については次のとおりです。

本観点の評価について、従前の「算数への関心・意欲・態度」の観点も、算数科の学習内容に関心をもちことのみならず、よりよく学ぼうとする意欲をもって学習に取り組む態度を評価するという考え方に基づいたものであり、この点を「主体的に学習に取り組む態度」として改めて強調するものと捉えます。このことから、例えば、単元を通しての毎時間の評価の平均や「よく発表している」「忘れ物がない」「まじめに取り組む」などのように、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価したり、単元の学習内容に関係しない教師の感じ方や主観等、曖昧なもので評価したりしてはいけません。単元計画の中に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時間を位置付け、例えば、単元の途中の意欲的な姿や、後半の学習意欲の高まりの評価を重視するなど、学習活動全体を通して捉えることが妥当だといえます。本観点に基づく評価のキーワードは、「①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面」と「②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面」です。

そのためには、単元全体を通して3観点がバランスよく評価できるよう学習指導案等にも示す単元計画を立てることや、単元計画で位置付けられた単位時間の中で、「誰が(Who)〔教師、子供の自己評価や他者評価、他〕」、「何を(What)〔活動の様子、ノート記述、他〕」、「いつ(When)〔自力解決の時、振り返りの時、他〕」、「どの場で(Where)〔発話の時、グループ活動の時、他〕」、「どのように(How)〔取り組み方の観察、ノートの分析、他〕」等を明確にして評価することが重要です。

### 3 評価規準「主体的に学種に取り組む態度」を最重点評価項目にした授業の実例

評価規準「主体的に学習に取り組む態度」について具体的にどのように評価を進めていけばよいかについて、第5学年単元「整数」での単元の途中(6/12時間)に位置付けた実践事例で考えます。

#### (1) 単元の目標

偶数と奇数の意味を知り、整数が偶数と奇数とに分類できることを理解する。また、倍数や約数の意味を理解し、それらを求めたり、それらを使って問題を解決することができる。

#### (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
偶数・奇数の意味や倍数・約数、素数などの意味、整数の性質について理解したり、整数を偶数と奇数に類別できたり、倍数・約数などを求めたりすることができる。	整数を偶数・奇数という観点から類別したり、倍数・約数という観点から考察したりしている。	偶数・奇数及び、倍数・約数の概念をもとにして整数の性質を見出し、問題を解決しようとしている。

(3) 単元計画 (12時間) \*塗りつぶしが「主体的に学習に取り組む態度」を最重点評価項目にした授業

目 標・学習活動		評価規準 (評価方法) ◎は最重点評価項目, ○は重点評価項目		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	整数は性質によって分類できることに関心をもち、単元の課題を捉えることができる。 ・整数を偶数, 奇数に分ける。			◎整数は, いろいろな観点から分類できることに関心をもっている。(活動の様子, ノート)
2	倍数の意味を理解し, 倍数を求めることができる。 ・数カードでできる数を偶数・奇数以外の観点で類別する。	◎作った数について, かけ算やわり算を使いながら倍数を見つけ, かけ算やわり算を使いながら倍数を求めている。(活動の様子, ノート)		
3	倍数の性質について考えることができる。 ・数カードでできる3桁の倍数の性質について考える。		◎倍数のきまりについて, 発言したり, ノートに書いたりしている。(発言, ノート)	
4	公倍数や最小公倍数の意味を理解することができる。 ・2つ以上の倍数の共通の数を見つける。	◎数直線やベン図を使って, 公倍数や最小公倍数を見つけている。(ワークシート)		
5	公倍数や最小公倍数を求め方を考えることができる。 ・2数や3数の公倍数の求め方について考える。	○公倍数や最小公倍数を正確に求めることができている。(ノート)	◎2数 $a > b$ のとき, $a$ の倍数から公倍数を見つけている。(発言, 活動の様子)	
6 本 時	倍数と模様との関係性に気づき, 倍数に, より関心をもつことができる。 ・100までの数表を使って模様づくりをする。			◎進んで倍数の模様作りをしている。(活動の様子, ワークシート)

7	公倍数を使って, 問題解決することができる。 ・くらしの中の具体的な問題場面を考える。	○公倍数の考えを使って問題を解決している。(発言, ノート)	◎問題場面のどこに公倍数の考え方があるのかを考えている。(発言・ノート)	
8	約数の意味を理解し, 約数を求めることができる。 ・偶数・奇数, 倍数以外の観点で類別する。	◎作った数について, わり算や表を使いながら約数を見つけたり, 約数を求めたりすることができる。(活動の様子, ノート)	◎2数 $a > b$ のとき, $b$ の約数から公約数を見つけている。(発言, 活動の様子)	
9	公約数や最大公約数の意味を理解し, 求めることができる。 ・2数や3数の公約数の求め方について考える。	○公約数や最大公約数を正確に求めることができる。(ノート)		
10	公約数を使って, 問題解決することができる。 ・くらしの中の具体的な問題場面を考える。	○公約数の考えを使って問題を解決している。(発言, ノート)	◎問題場面のどこに公約数の考え方があるのかを考えている。(発言・ノート)	
11	整数について学習内容を理解することができる。 ・教科書や考える算数の問題を解く。	◎学習内容について分からないところが分かり, 問題を解く方法についてふり返っている。(ノート, ワーク, 活動の様子)		
12	単元のふり返りをするができる。 ・単元を通しての感想を書く。 ・評価問題を解く。	◎学習内容を理解し問題解決ができる。(テスト)		◎整数について関心をもち, 進んでノートに感想を書いている。(ノート)

(4) 本時の学習 (6/12時間)

① 目標 倍数と模様との関係性に気づき、倍数に、より関心をもつことができる。

② 展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援	具体の評価規準 (評価方法)
<p>1 前時までの学習を想起し、100までの数表を使って、5の倍数に色塗りをすることにより、本時の学習課題をつかむ。</p> <p>○100までの数表の5の倍数に色を塗る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で5の倍数をいくつか確認し、数表のその数にあたる場所に色を塗らすなどモデルを提示することにより、活動についての見通しをもつことができるようにする。</li> <li>色塗りした5の倍数を俯瞰させることにより、倍数のならば方の特徴(模様)に気付くことができるようにする。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     いろいろな数の倍数はどんなもようになるのか調べよう。                 </div>		
<p>2 5の倍数以外の倍数の模様について、各自で調べ、模様づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2の倍数。</li> <li>・3の倍数。</li> <li>・4の倍数。</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導の際には、何の倍数を調べているのか問うのをはじめ、どのような模様になると思うかを問うことにより、根拠をもって調べることができるようにする。</li> <li>・調べが進んでいない児童には、調べが進んでいる児童の数表を見に行くように促す。</li> </ul>	<p>☑進んで模様づくりに取り組んでいる。(活動の様子)</p>
<p>3 調べた倍数の模様を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2の倍数。</li> <li>・3の倍数。</li> <li>・4の倍数。</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板や画面に提示するときは、数表の数を抜いたものを提示することにより、模様から何の倍数なのかを考えることができるようにする。</li> <li>・「これは、どんな模様といえるかな」と同意の発問をすることにより、模様の特徴「ななめにならんでいる」「1列おきに1つとびにならんでいる」に着目したり、考えたりすることができるようにする。</li> </ul>	<p>☑倍数の並びのきまりを模様に着目して調べている。(発言)</p>
<p>4 学習したことを生かして、2つの数の倍数の模様を重ねて1つの数表に表したり、公倍数の模様を表したりするなど、学習したことを適用しながら模様づくりを楽しみ、本時のふりかえりをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な倍数のもようづくり</li> <li>・本時のふりかえり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のふりかえりとして、書き出し文をそろえさせることにより、本時のめあてに対応したふりかえりをかくことができるようにする。</li> </ul>	<p>☑模様の美しさから、倍数における数の並びの規則性について気づき、そのことを自分なりにノートにふりかえっている。(活動の様子、ノートの記述)</p>

#### 4 おわりに

「主体的に学習に取り組む態度」の評価を適正に行うためには、本時の目標を達成した姿や目標に迫ることができている姿とはどのような姿なのか、授業における数学的活動の中での具体的な姿を想定し、その姿に基づいて、手立てを講じることが大事です。

特に「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法の工夫改善を図ることは、学習はじめ児童の「生きる力」の幹である主体性を育てる上で重要なことであると考えます。